

うつくしやま だより

学校の教育目標

自立をめざす生徒

～自分を生かし 社会に貢献できる人間に～

学校だより

R4. 3. 22

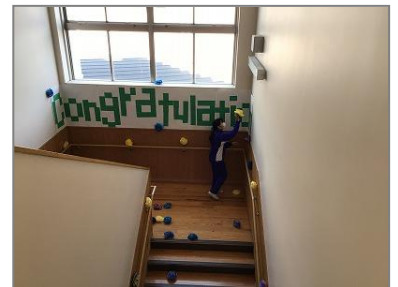
山県市立美山中学校

自分の力で何ができるのか、どこまでできるのか、という問いには、多くの人が「たいしたことはできない」と否定的に考えがちなものです。勉強のこと、運動のこと、部活動のこと、仲間関係のこと、家族のこと、世の中のこと…いろんな場面で考えることがあると思います。でも、大きなことではなくても、一人一人のささやかでも前向きな力は、確かに形を表したり、人の心に伝わったり、残ったりします。例えば、卒業式のためにみなさんがきれいに掃除や準備をしたこと、来年度入学してくる小学校6年生の子たちに向けた2年生の人たちのオンライン説明会、いじめ予防のために募集したピア・リーダーに1年生14名と2年生2名の計16名が手を挙げ、すでに小学生向けのプレゼン制作の活動を始めていること、どれも卒業生や小学生の心に届いていることでしょう。さらに、そうしたみなさんの意思や行動は、すでに先生たちの心に届いています。そして、それはそばにいる仲間にも伝わるのです。水の分子が少しでも動き続けることで、全体の水温がほんの少し上昇するように、一人一人の少しずつ、ゆるやかにでも誠実に行動する姿は、やがて私たちの仲間関係も温かくしてくれます。逆に、アリアゲあけたほんの小さな穴のせいで、大きな堤防やダムもくずれ落ちてしまうことがあるように、一人くらい大丈夫だと思って、不誠実で不真面目なことをしていると、やがてそれは少しずつ広がっていくこともあります。さらに「たいしたこと」と思うようなことでなくてもいいので、ささやかでも誠実に前向きにがんばることが自分にかえってくることは間違いありません。

この1年間の美山中学校を振り返ると、いつもそうしたみなさんの姿が浮かびます。朝正門でみなさんを迎えるその一瞬だけでも、自分からあいさつをしてくれる人、健康学習カードを私に見えやすいように目の前に差し出してくれる人、体温を言ってくれる人、カード忘れをていねいにあやまりながら申告できる人など、誠実さが伝わるのですから、授業や掃除、係活動などで努力してきたことは、もちろんあなたの財産です。この1年間、よくがんばりました。

<保護者の皆様へ>

なんとか無事に今年度の教育課程が終わろうとしています。行事の縮小や学級閉鎖など、苦しい状況もありましたが、子どもたちはそれらを乗り越えてくれました。保護者の皆さまには、ご心配やご苦勞の絶えない日々でありながら、温かく学校の教育活動を見守ってくださり、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。また、引き続き今後ともよろしく願いいたします。



美山中をいじめの起きにくい学校にするために自分たちでいじめ予防の活動を

ピア・サポート

ピア(peer)=仲間
サポート(support)=支える

